

(臨床研究に関するお知らせ)

名古屋大学医学部附属病院耳鼻いんこう科で、新型コロナウイルス感染症にて気管切開術を受けた患者さんへ

名古屋大学医学部附属病院では、以下の臨床研究を実施しております。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院の倫理審査委員会の承認を得て行うものです。このような研究の場合には、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」(厚生労働省 H20 年 12 月)の規定により、対象となる患者さんから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開し研究を行うことが認められております。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

COVID-19 患者における気管切開術の適応に関する検討

2. 研究責任者

名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 助教 西尾 直樹

3. 研究の目的

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による急性感染症(COVID-19)は中国で初感染が報告されて以来、全世界中で猛威を奮っており、日本においても患者の増加に対して、医療面のみならず経済面においても大きな影響を与えております。重症の COVID-19 患者さんにおいては、呼吸状態の悪化により、人工呼吸管理を含めた集中治療が必要になります。気管切開術は長期人工呼吸患者に対して、早期離床やリハビリを可能とすることができますが、COVID-19 患者さんにおいては、その感染力により医療従事者への感染も大きな問題となっています。そのため、気管切開術の適応や時期については未だ議論が続いているのが現状です。

本研究では COVID-19 にて気管切開術を施行された患者さんにおいて、後ろ向きに臨床情報や気管切開術の方法、合併症、予後などを検討することで、日本における気管切開術の適応と至適時期を提唱することが期待できます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2020年1月1日から2020年9月15日までに当院にて気管切開を行った COVID-

19 患者さんが対象となります。

(2) 利用させて頂く情報

この研究では患者さんのカルテの診療情報を利用させていただきます。利用させて頂く診療情報は次のようなものです。

識別情報（生年月日、性別、初診年月日）、既往歴（喫煙、飲酒）、
治療前診断情報、気管切開の術式、合併症、周術期情報、予後情報など

(3) 方法

この研究で利用させていただく情報は、個人を特定できる情報を削除する匿名化を行った後に、施錠可能な保管庫等に保管し厳重に管理します。集計の結果は、学会報告や学術雑誌、学会のホームページなどで公に発表されることもあります。

(4) 研究期間

実施承認日から2021年3月31日まで

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることもありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

担当医師 西尾 直樹

TEL : 052-744-2323 FAX : 052-744-2325

E-mail : naokin@med.nagoya-u.ac.jp